1　生乳生産量と用途別処理量

(1)　生乳生産量

－　生乳の生産量は2.1%増加　－

生乳の生産量は759万2,061ｔで、前年に比べ15万3,843ｔ（2.1%）増加した。

図１　生乳の生産量の推移（全国）

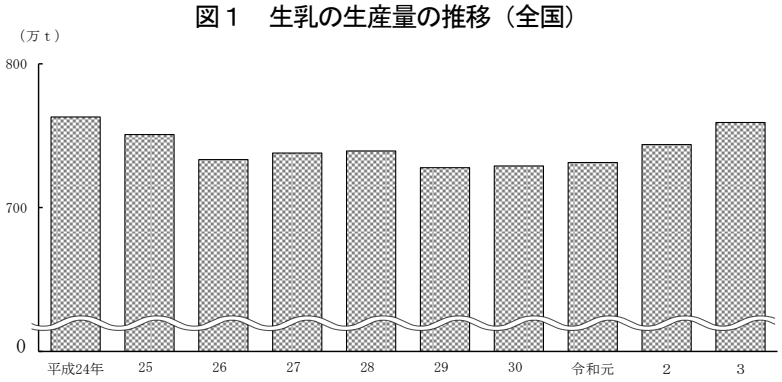
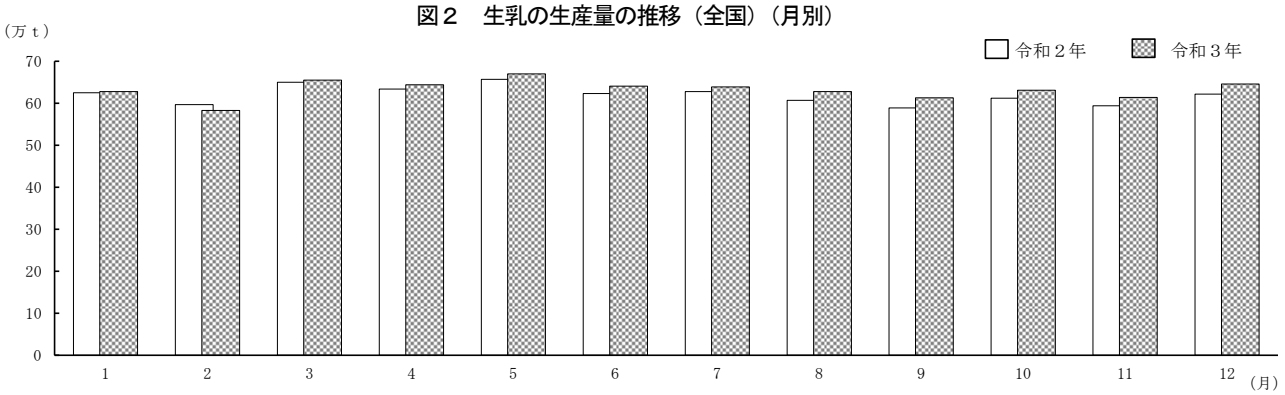


表１　生乳の生産量（全国、北海道・都府県別）

年　次	生乳生産量			対前年比		
	全国	北海道	都府県	全国	北海道	都府県
	t	t	t	%	%	%
令和２年	7,438,218	4,153,714	3,284,504	101.7	102.6	100.6
3	7,592,061	4,265,600	3,326,461	102.1	102.7	101.3

図２　生乳の生産量の推移（全国）（月別）

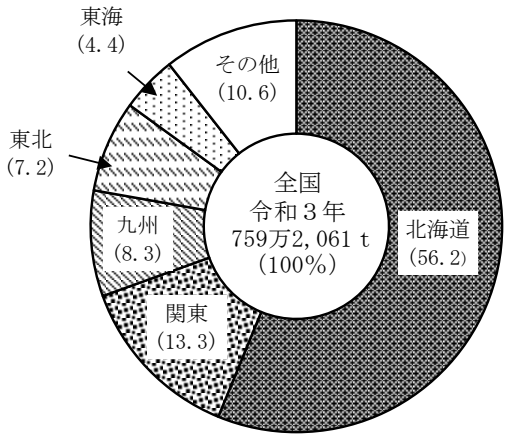


(2)　全国農業地域別生乳生産量

－　北海道の生乳生産量シェアは56.2%　－

生乳の生産量を全国農業地域別にみると、北海道が426万5,600ｔ（全国に占める割合56.2%）で最も多く、次いで関東が101万2,065ｔ（同13.3%）、九州が63万2,991ｔ（同8.3%）の順となっている。

図３　生乳生産量シェア（全国農業地域別）



注：割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、計と内訳が一致しない場合がある（以下同じ。）。

表２　生乳の生産量（全国農業地域別）

単位：ｔ

年次	全国	北海道	東北	北陸	関東	東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
令和２年	7,438,218	4,153,714	553,395	74,958	983,460	108,249	334,143	160,898	312,371	112,837	621,176	23,017
3	7,592,061	4,265,600	546,230	75,345	1,012,065	111,348	332,500	164,010	316,837	112,291	632,991	22,844
対前年比（%）	102.1	102.7	98.7	100.5	102.9	102.9	99.5	101.9	101.4	99.5	101.9	99.2

(3) 用途別処理量

― 牛乳等向けは0.5%減少、乳製品向けは5.0%増加 ―

生乳の処理量を用途別にみると、牛乳等向け処理量は400万979ｔで、前年に比べ１万8,582ｔ（0.5%）減少し、乳製品向け処理量は354万2,626ｔで、前年に比べ16万8,515ｔ（5.0%）増加した。

図４　牛乳等向け及び乳製品向け処理量の推移（全国）

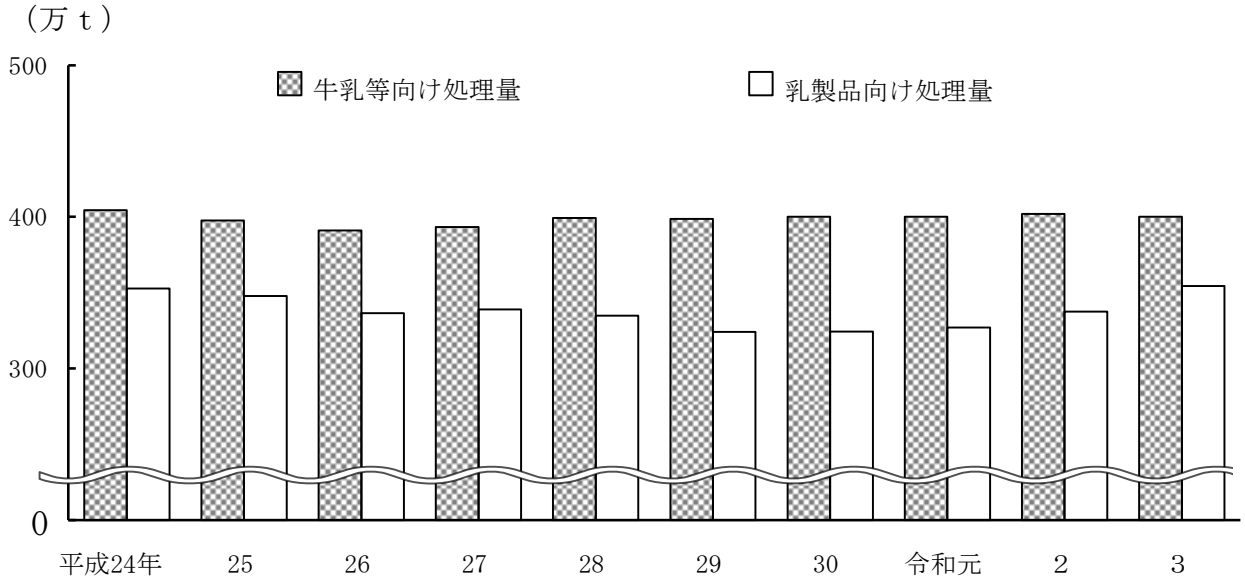


表３　生乳の用途別処理量（全国）

単位：ｔ

年　次	生乳生産量	用途別処理量				
		牛乳等向け	業務用向け	乳製品向け	その他	欠減
令和２年	7,438,218	4,019,561	300,580	3,374,111	44,546	10,120
3	7,592,061	4,000,979	323,820	3,542,626	48,456	13,520
対前年比（%）	102.1	99.5	107.7	105.0	108.8	133.6

2　牛乳等生産量

(1)　飲用牛乳等生産量

－　牛乳の生産量は0.4%増加　－

飲用牛乳等の生産量をみると、牛乳の生産量は319万3,828klで、前年に比べ1万4,132kl（0.4%）増加し、加工乳・成分調整牛乳の生産量は38万2,075klで、前年に比べ1万2,057kl（3.1%）減少した。

図５　牛乳及び加工乳・成分調整牛乳の生産量の推移（全国）

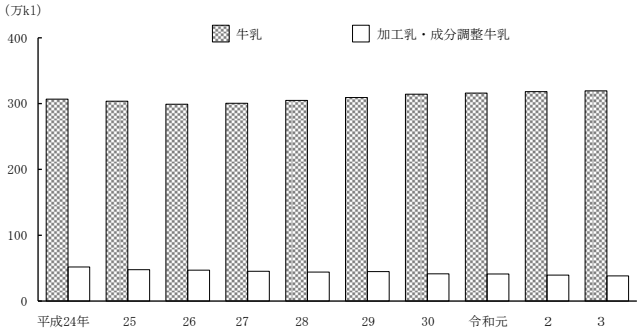
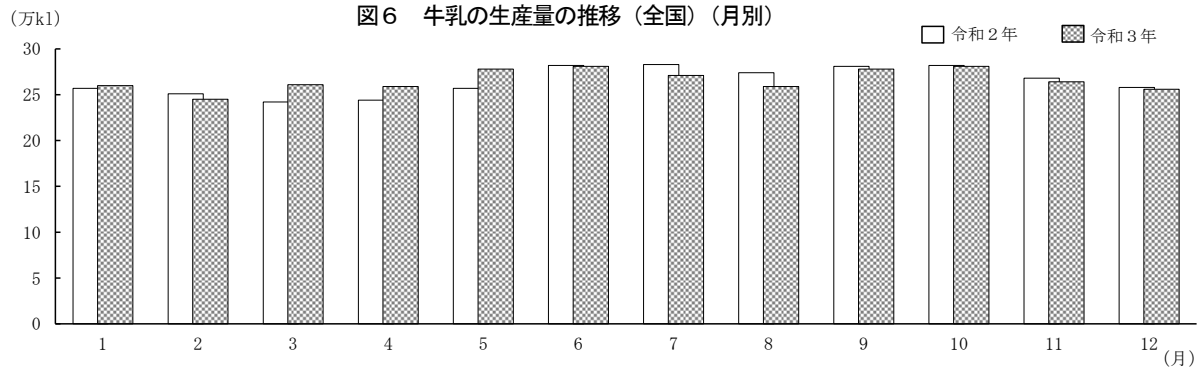


表４　飲用牛乳等の生産量（全国）

単位：kl

年　次	飲用牛乳等					
	計	牛乳		加工乳・成分調整牛乳		
			業務用		業務用	成分調整牛乳
令和２年	3,573,828	3,179,696	280,924	394,132	42,612	282,329
3	3,575,903	3,193,828	299,665	382,075	43,682	264,289
対前年比（%）	100.1	100.4	106.7	96.9	102.5	93.6

図６　牛乳の生産量の推移（全国）（月別）



(2)　全国農業地域別飲用牛乳等生産量

－　関東の飲用牛乳等生産量シェアは30.8%　－

飲用牛乳等の生産量を全国農業地域別にみると、関東が110万183kl（全国に占める割合30.8%）で最も多く、次いで北海道が56万252kl（同15.7%）、九州が39万2,325kl（同11.0%）の順となっている。

図７　飲用牛乳等生産量シェア（全国農業地域別）

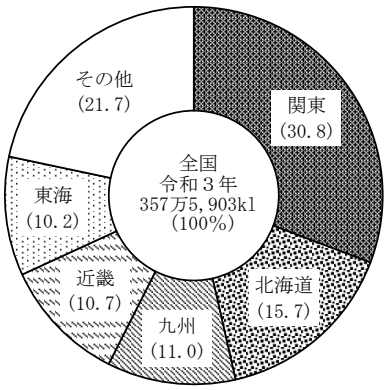


表５　飲用牛乳等生産量（全国農業地域別）

単位：kl

年　次	全国	北海道	東北	北陸	関東	東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
令和２年	3,573,828	556,848	228,508	73,612	1,097,000	116,762	363,146	387,678	243,233	85,398	396,801	24,842
3	3,575,903	560,252	217,549	76,351	1,100,183	120,749	363,355	383,340	249,221	87,576	392,325	25,002
対前年比（%）	100.1	100.6	95.2	103.7	100.3	103.4	100.1	98.9	102.5	102.6	98.9	100.6

(3)　乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料の生産量
－　はっ酵乳の生産量は3.2%減少　－

乳飲料の生産量は108万8,842kl、はっ酵乳の生産量は113万7,186kl、乳酸菌飲料の生産量は11万4,990klで、前年に比べそれぞれ４万6,295kl（4.1%）、３万7,879kl（3.2%）、3,967kl（3.3%）減少した。

図８　乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料生産量の推移（全国）

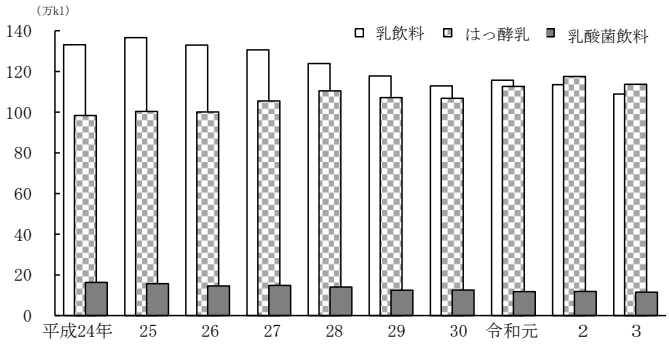


表６　乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料の生産量（全国）

単位：kl

年　次	乳飲料	はっ酵乳	乳酸菌飲料
令和２年	1,135,137	1,175,065	118,957
3	1,088,842	1,137,186	114,990
対前年比（%）	95.9	96.8	96.7

図９　乳飲料の生産量の推移（全国）（月別）

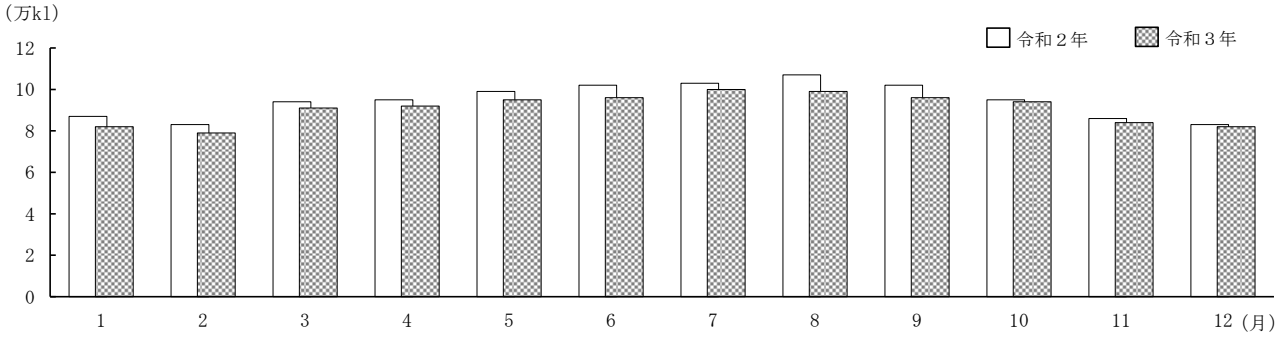


図10　はっ酵乳の生産量の推移（全国）（月別）

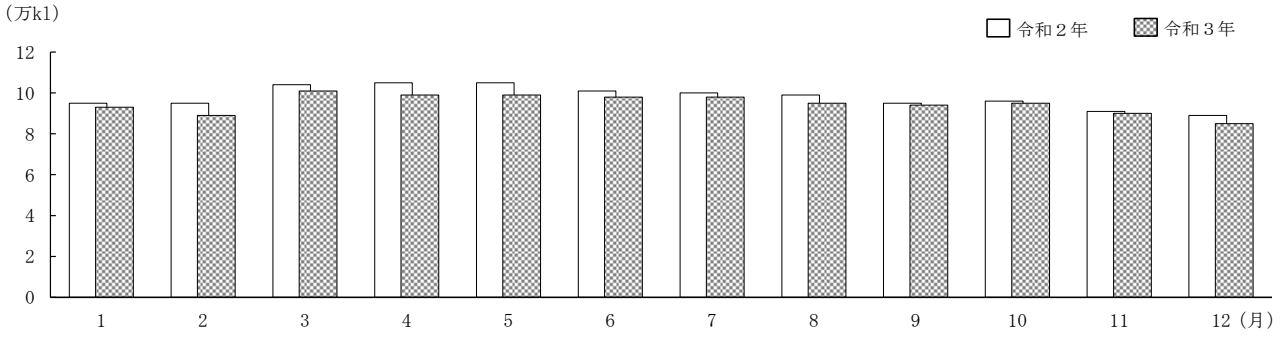
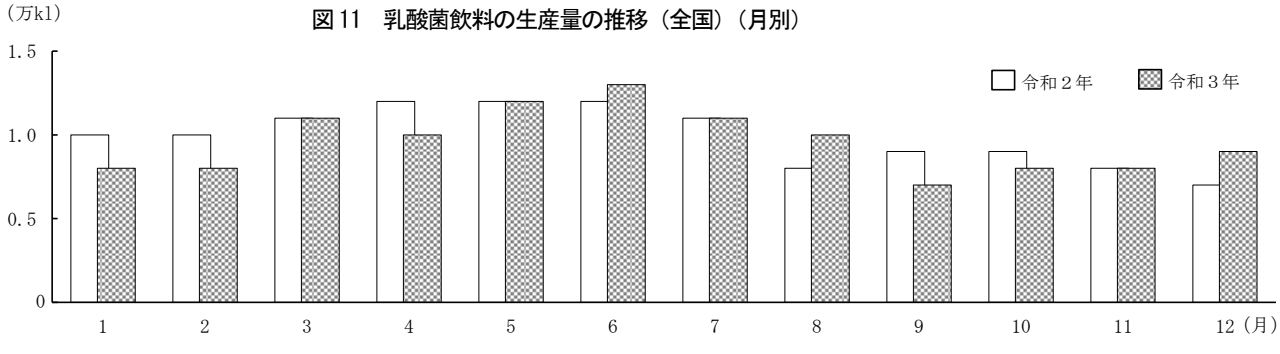


図11　乳酸菌飲料の生産量の推移（全国）（月別）

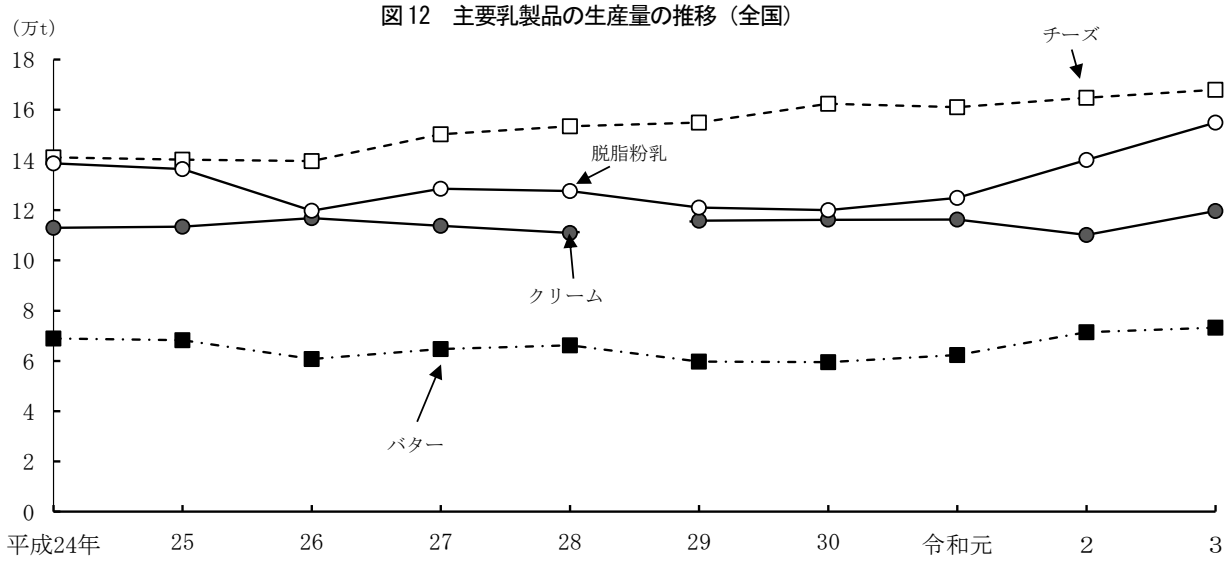


3　乳製品生産量

－　チーズの生産量は2.0%増加　－

主な乳製品の生産量をみると、脱脂粉乳は15万4,890ｔ、バターは7万3,317ｔ、クリームは11万9,710ｔ、チーズは16万7,910ｔで、前年に比べそれぞれ1万4,937ｔ（10.7%）、1,797ｔ（2.5%）、9,585ｔ（8.7%）、3,243ｔ（2.0%）増加した。

図12　主要乳製品の生産量の推移（全国）



クリームの生産量について、平成28年12月の調査までは、「クリームを生産する目的で脂肪分離したもの」に限定していたところであるが、29年1月以降は、バター、チーズを製造する過程で製造されるクリーム及び飲用牛乳等の脂肪調整用の抽出クリームのうち、製菓、製パン、飲料等の原料や家庭用として販売するものを含めている。
このため、28年以前と29年とでは、数値の連続性が保てないことに留意されたい。

表7　乳製品の生産量（全国）

年 次	全粉乳	脱脂粉乳	調製粉乳	ホエイパウダー	バター	クリーム
	t	t	t	t	t	t
令和２年	9,067	139,953	28,232	18,859	71,520	110,125
3	8,959	154,890	26,157	19,238	73,317	119,710
対前年比（%）	98.8	110.7	92.7	102.0	102.5	108.7

年 次	チーズ	直接消費用ナチュラルチーズ	加糖れん乳	無糖れん乳	脱脂加糖れん乳	乳脂肪分８%以上のアイスクリーム
	t	t	t	t	t	kl
令和２年	164,667	31,082	30,329	388	3,321	131,543
3	167,910	33,752	30,652	375	3,243	137,382
対前年比（%）	102.0	108.6	101.1	96.6	97.7	104.4

図 13　脱脂粉乳の生産量の推移（全国）（月別）

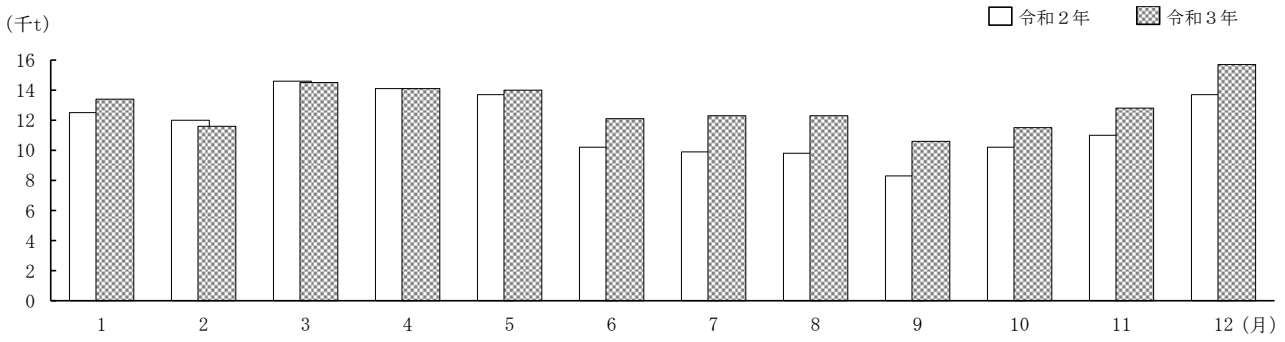


図 14　バターの生産量の推移（全国）（月別）

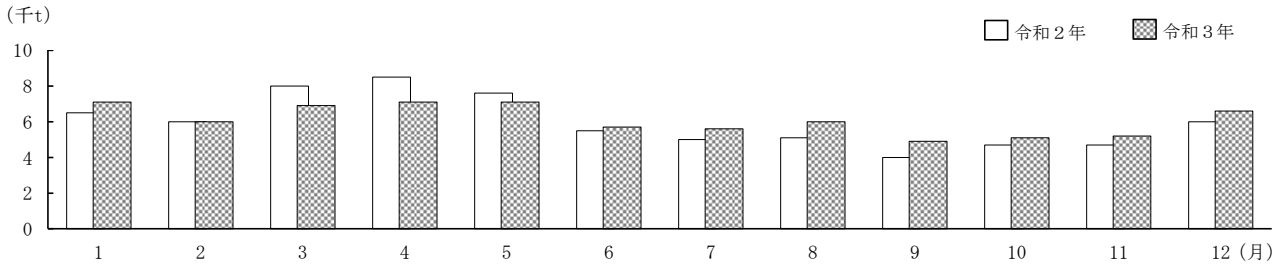


図 15　クリームの生産量の推移（全国）（月別）

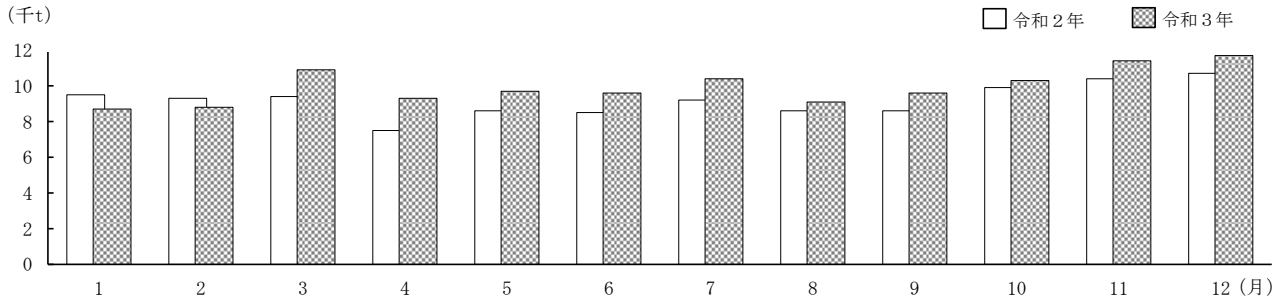
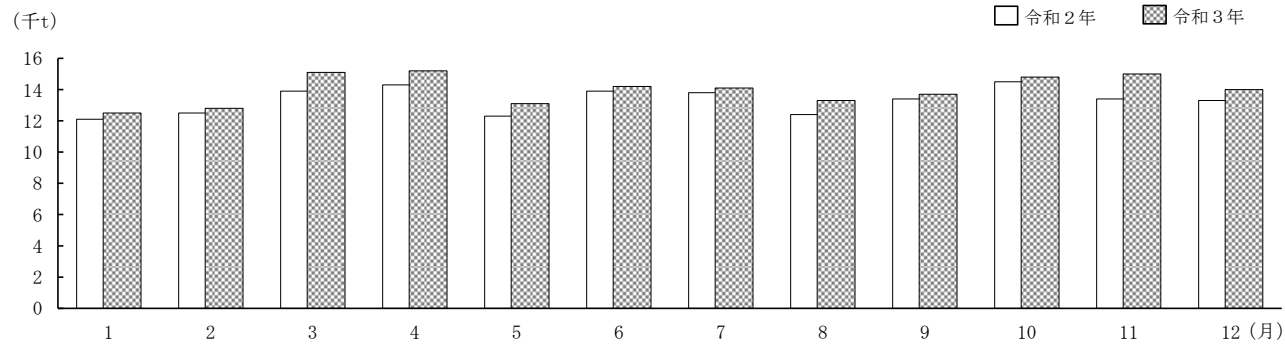


図 16　チーズの生産量の推移（全国）（月別）



4　牛乳処理場及び乳製品工場数

(1)　処理場・工場数

－　牛乳処理場・乳製品工場数は 546 工場　－

令和３年 12 月 31 日現在の牛乳処理場・乳製品工場（以下「工場」という。）数は 546 工場で、前年に比べ 13 工場減少した。

生乳を処理した工場を製造種別にみると、牛乳処理場が 351 工場で、前年に比べ 10 工場減少し、乳製品工場が 143 工場で、５工場増加した。

また、生乳処理量規模別にみると、１日当たり２ｔ以上の工場数は、牛乳処理場が 185 工場で、前年に比べ６工場減少し、乳製品工場が 39 工場で前年に比べ１工場増加した。

図 17　生乳処理量規模別工場数の推移
（全国）（12 月 31 日現在）

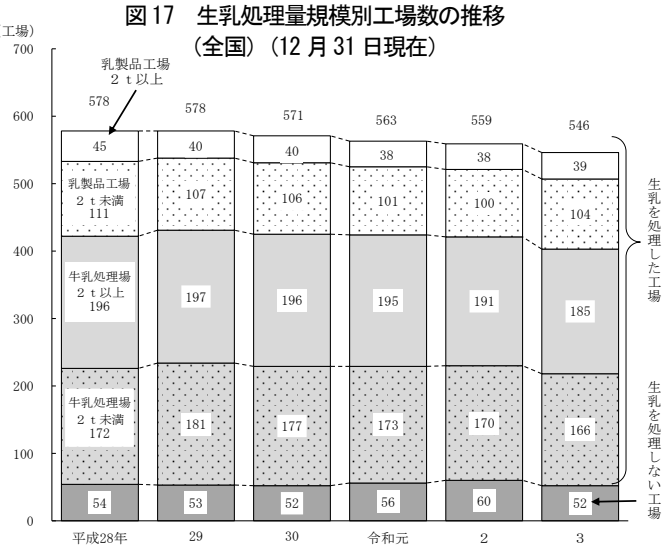


表８　生乳処理量規模別工場数（全国）（12 月 31 日現在）

単位：工場

区分	合計	生乳を処理した工場							生乳を処理しない工場
		計	牛乳処理場			乳製品工場			
			小計	２ｔ未満	２ｔ以上	小計	２ｔ未満	２ｔ以上	
令和２年	559	499	361	170	191	138	100	38	60
3	546	494	351	166	185	143	104	39	52
対前年差	△ 13	△ 5	△ 10	△ 4	△ 6	5	4	1	△ 8
構成割合（%）									
令和２年	100.0	89.3	64.6	30.4	34.2	24.7	17.9	6.8	10.7
3	100.0	90.5	64.3	30.4	33.9	26.2	19.0	7.1	9.5

ここでいう牛乳処理場及び乳製品工場とは、12 月における１日当たりの生乳の平均処理量を基に区分し、生乳を主として牛乳等の生産に仕向けた工場を「牛乳処理場」、主として乳製品の生産に仕向けた工場を「乳製品工場」とした。

(2)　全国農業地域別工場数

－　北海道の工場シェアは 22.0%　－

全国農業地域別の工場数をみると、北海道が 120 工場（全国に占める割合 22.0%）で最も多く、次いで関東が 110 工場（同 20.1%）、近畿が 55 工場（同 10.1%）の順となっている。

図 18　全国農業地域別工場シェア
（12 月 31 日現在）

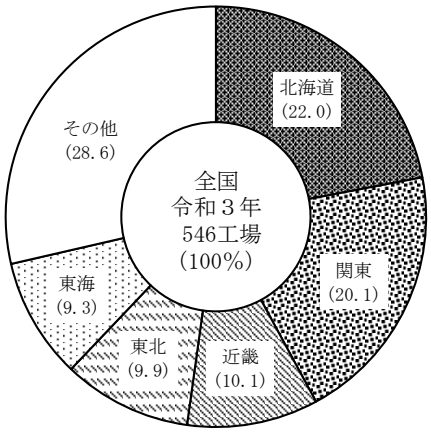


表９　全国農業地域別工場数（12 月 31 日現在）

単位：工場

年 次	全国	北海道	東北	北陸	関東	東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
令和２年	559	121	57	32	114	30	50	56	30	10	51	8
3	546	120	54	29	110	29	51	55	30	10	50	8
対前年差	△ 13	△ 1	△ 3	△ 3	△ 4	△ 1	1	△ 1	0	0	△ 1	0

(3) 製造品目別処理場・工場数

－ 牛乳を製造した工場は 348 工場 －

令和３年１月から 12 月に飲用牛乳等を製造した工場数は 349 工場で、このうち牛乳を製造した工場数は 348 工場であった。

また、加工乳・成分調整牛乳を製造した工場数は 94 工場であり、乳飲料、はっ酵乳、乳酸菌飲料を製造した工場数は、それぞれ 201 工場、258 工場、37 工場であった。

乳製品を製造した工場数は 327 工場で、このうちチーズを製造した工場数は 188 工場、乳脂肪分８％以上のアイスクリームを製造した工場数は 116 工場であった。

表 10　牛乳等を製造した工場数（全国）（12 月 31 日現在）

単位：工場

年次	飲用牛乳等							乳飲料	はっ酵乳	乳酸菌飲料
	計	牛乳	業務用	学校給食用	加工乳・成分調整牛乳	業務用	成分調整牛乳			
令和２年	358	357	160	189	102	13	57	206	265	37
3	349	348	160	186	94	13	55	201	258	37
対前年差	△ 9	△ 9	0	△ 3	△ 8	0	△ 2	△ 5	△ 7	0

注：内訳は各製品を製造した工場数であり、内訳と合計は一致しない（表 11 において同じ。）。

表 11　乳製品を製造した工場数（全国）（12 月 31 日現在）

単位：工場

年次	乳製品												
	計	粉乳			ホエイパウダー	バター	クリーム	チーズ	直接消費用ナチュラルチーズ	れん乳			乳脂肪分８％以上のアイスクリーム
		全粉乳	脱脂粉乳	調製粉乳						加糖れん乳	無糖れん乳	脱脂加糖れん乳	
令和２年	327	10	27	5	5	73	73	182	161	21	2	10	122
3	327	9	26	5	5	72	74	188	167	20	2	10	116
対前年差	0	△ 1	△ 1	0	0	△ 1	1	6	6	△ 1	0	0	△ 6